

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503437		
法人名	有限会社 ケアテック		
事業所名	グループホーム あかね		
所在地	北海道札幌市白石区東札幌5条4丁目1番7 (電話) 011-837-8502		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年9月27日	評価確定日	平成19年10月9日

【情報提供票より】(平成19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	(有) 40,000 円	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5			要支援2	1 名	
年齢	平均 83.1 歳	最低	63 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭町医院・みどりの街診療所・北愛医院・日之出歯科真駒内診療所
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線沿いに面してJR駅も近く、交通の利便性に優れた場所に位置するグループホームである。児童会館の児童との相互訪問を通じての交流が盛んに行われたり中学生の体験学習や管楽器演奏などのボランティアの受け入れなど積極的にホーム機能を地域に還元していると共に認知症の理解や広報にも取り組まれています。玄関にはプランターで花を植えたり、椅子が配置され日光浴が楽しめたりたり畑では野菜などが栽培され職員と利用者が楽しんで収穫したり季節感など味わえる工夫もされている。また、清潔感漂う共用空間には観葉植物や利用者手作りの作品が飾られ趣味を活かせる場となっていると共に家庭的雰囲気を出している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時の対応についての改善点があげられていましたが、資格を持った防火管理責任者を配置して消防署の協力の元に実技を伴う火災避難訓練の実施や救急救命の訓練の実施など緊急時に速やかに対応が出来るよう取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員間で話し合わせ管理者を交えて取りまとめられています。また、自己評価及び外部評価の結果については運営推進会議で報告されると共に家族にも郵送で送付され報告される取り組みが行われ改善の機会として捉えられています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議も評価日現在3回実施され、消防署職員が防火について運営推進会議で講義をするなど地域に密着した取り組みが議事録として取りまとめられています。主題については 防火活動と対策について 今後の行事予定について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、家族に「あかね便り」を発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など情報提供して、日頃より意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。また、家族の意見や苦情についても職員間で改善策が話し合わせケアサービスの質の向上に取り組まれて運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 児童会館の児童がホーム行事に参加するなど交流が行われたり、近隣の公園への散歩やスーパーやコンビニでの買い物、中学生の体験学習やマジックや演奏などのボランティアの積極的な受け入れ、「あかね便り」の発行や運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われる取り組みがされています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、基本理念、ケア理念を掲げて利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして理念の実現に職員間で話し合われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有して、カンファレンスで職員間で話し合ったり共有空間に理念を掲示するなど理念の実践に取り組んでいる。		今後は、理念実現の為に具体的な職員個々の目標を掲げその達成度についてフォローアップされる取り組みも検討されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	児童会館の児童がホーム行事に参加するなど交流が行われたり、近隣の公園への散歩やスーパーやコンビニでの買い物、中学生の体験学習や演奏などのボランティアの積極的な受け入れ、「あかね便り」の発行や運営推進会議の開催など日常生活を通じて地域との連携が行われる取り組みがされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員間で話し合われ管理者を交えて取りまとめられています。また、自己評価及び外部評価の結果については運営推進会議で報告されると共に家族にも郵送で送付され報告される取り組みが行われ改善の機会として捉えられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表、包括支援センター、児童会館館長、管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市との連携の重要性について認識して日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、研修会や講習会を通じて市や地域住民を交えてケアサービスの質の向上に取り組む計画があるので、実践されることを期待します。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、家族に「あかね便り」を発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など情報提供して、日頃より意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果や運営推進会議の内容について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		<p>家族の苦情について、職員間で話し合わせ改善策が検討されています。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間に全スタッフの紹介を写真で掲示している。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		<p>経営主体の引継ぎで管理者の入れ替えなどあったが現在は安定しておりケアサービスのさらなる向上に意気込みと努力の姿勢が伺えた。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	カンファレンスや申送りなどで認知症に対する職場内研修の充実を図り職員を育てる取り組みがされている。		今後は、協力医療機関の協力で看護・介護、口腔ケアの研修や市との連携で職員の研修意欲を満たす機会の創出など具体的な計画が進んでいる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人グループ内での交流や相互訪問、研修参加などでの同業者との情報交換でサービスの向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人が安心して納得したサービスが受けられるように、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、畑での野菜の収穫を楽しんだり支えあう関係を築いている。また、手芸や紙細工などの趣味への支援や動物園や図書館への訪問など気分転換のための外出の機会も工夫されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントに基づいて利用者一人ひとりの思いを職員間で共有して、公園までの散歩やスーパーやコンビニでの買い物、動物園や図書館、花見見物など外出の機会を多く作ったり紙細工やパッチワーク、刺繍などの趣味への支援が本人の希望や意向を尊重して行われている。</p>		<p>利用者の過去の大事な出来事などの生活歴の把握の充実を今後とも継続した取り組みとして、更に情報収集してケアに活かすことが検討されているので、計画通りに実施されていくことを期待しております。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		<p>まだ起きていない事故のヒヤリ・ハットの取り組みが特筆すべき点である。今後は、データを収集・分析して事故の未然防止にさらに役立てることを希望いたします。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、馴染みの理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力医療機関や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、医師と利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われ、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーについては尊重した声かけなど支援するよう取り組まれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して散歩、スーパーやコンビニでの買い物、食事の準備や後片付け、図書館訪問など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって食事の準備や後片付けをしている。また、職員も同じ食事をとり和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めないで利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴を楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの過去の生活歴が把握され、紙細工や刺繍などの趣味や畑での野菜の収穫、食事の準備・後片付け、ホーム内での出張寿司などの楽しみごとや外食や買い物などでの気分転換の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園までの散歩、スーパーやコンビニでの買い物、動物園や花見見物、図書館訪問など気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の機会が支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけずに利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が実施されています。		運営推進会議で消防署の職員が防火についての講義を実施して、市との連携が行われています。今後は、さらに市との連携を強化する計画が検討されている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、法人内の栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、気になる臭いや音は感じられない。また、廊下や居間には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。玄関前にも椅子が配置されて日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。